

ルワンダ月報（2023年3月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 2日、ビルタ外務大臣は、ジュネーブでの第52回人権理事会にて、コンゴ民主共和国東部の状況は、国際社会にとって大きな人権上の課題であり、コンゴ（民）によって開始され、コンゴ（民）の責任であることを強調した。
- 3日、控訴裁判所は、1994年のツチ族大量虐殺に関与した疑いで国際司法に起訴され、ルワンダの裁判所に送り返される前のンタガンズワ元市長の終身刑を支持。
- 3日、ルワンダ軍は国境を越えたコンゴ（民）人兵士を殺害したと、ルワンダ国防省が発表。
- 6日、カガメ大統領は、ブルンジのニビギラ東アフリカ共同体担当大臣と、ブルンジのンディシミエ大統領の特使と面談。
- 6日、ンギレンテ首相は、ドーハでの第5回国連後発開発途上国会議の傍ら、ルワンダ出身のムシキワボ・フランコフォニー国際機関事務局長と会談。
- 7日、スナク英国首相は、カガメ大統領と会談し、英国・ルワンダの移住パートナーシップについて議論。
- 7日、ビルタ外務大臣は、外務省の開発政策担当国務長官マション氏率いるデンマークの代表団を迎える。大湖地域の平和と安全、ルワンダとデンマークの既存の開発協力について協議。
- 10日、ウワマリヤ教育大臣は、アルカタニアラブ首長国連邦駐ルワンダ大使と教育分野における既存の協力関係の強化について協議。大使はルワンダ学生9人への奨学金を約束。
- 10日、ビルタ外務大臣、AfCFTA（アフリカ大陸自由貿易地域）メネ事務局長、アフレックスバンクのアワニ取締役副社長は、ルワンダでAfCFTA調整基金を受け入れる契約に署名。最大100億米ドルのこの基金は、アフリカ諸国がAfCFTAの下で確立された新しい貿易環境に参加し、インフラや産業プロジェクトを支援することが期待されている。
- 11日、1994年ルワンダ大虐殺の資金提供者のカブガ容疑者（26年間逃亡）の裁判が、ハーグで保留された。弁護団は、同容疑者は認知症のため裁判を受けるのに適していないとし、刑事裁判のための国際残存メカニズムは、同人の健康状態を評価する間の一時停止に同意したもの。（BBC）
- 14日、バイオントラック社の BioNTrainer のためのコンテナがキガリに到着

着。mRNA ベースの医薬品および製品候補を製造するための最新鋭の製造施設の建設と開発を進めている。

- 17日、ビルタ外務大臣は、ロンドンで開催された第22回年次英連邦外務大臣会合（CFAMM）に出席。議題は、気候変動、パンデミックの継続的な影響、平和と安定にリスクをもたらす食料・エネルギーコストの高騰など。
- 18日、ブラバーマン英内相が来訪。英国・ルワンダの移住パートナーシップについて協議。
- 21日、カガメ大統領はドーハにてタミームカタール首長と特に経済と投資について二国間協力について協議。
- 21日、ビルタ外務大臣は、大湖地域国際会議（ICGLR）のカホロ大使と地域和平と ICGLR の役割について協議。
- 23日、財務・経済計画省のンダギジマナ大臣は、錫、タンタライト、タングステン、リチウム探査を扱う3つの鉱山会社の合併であるトリニティタルズを正式に発表。同合弁会社は、3,000万米ドルで、現在5000人以上を雇用し、農場外の雇用を増やすという政府の計画に貢献。
- 24日、テロリズムの罪で有罪判決を受けたポール・ルセサバギナとカリクステ・ンサビマナ（通称サンカラ）が、大統領恩赦により釈放された。
- 24日、10年以上ぶりに開催された第11回ルワンダとウガンダの合同常設委員会が終了。司法・立憲主義、相互法的支援、外交・政治協議、移民問題の分野で4つの覚書（MoU）が署名された。
- 30日、ンギヘンレ首相とルワンダ駐在中国大使は中国の支援によるマサカ病院の拡張工事の起工式に出席。マサカ病院はCHUCKと合併し、より良い医療サービスを提供する。
- 30日、ンサビマナ運輸大臣は、アフリカとマダガスカルにおける航空航法安全機関（ASCENA）のアクティブメンバーになるために署名。
- 31日、下院本会議は、大統領による憲法改正草案の妥当性を採択。現法では、次の国会議員選挙は2023年8月、大統領選挙は2024年に予定されているが、議員選挙を大統領選挙と同時期に実施させるため、議員選挙に関する憲法改正を要請した。

2. 開発協力

- 10日、リビアからの移民150人がルワンダのガショラ中継キャンプに到着。ルワンダ政府、アフリカ連合、UNHCR間では、2019年に、リビアのキャンプからルワンダに来る移民を助け、さらに受け入れ国を探すという合意が成立している。
- 11日、UNHCRリビアは、リビアからルワンダに150人の難民と庇護希望者

を避難させた。(The Libya Observer)

- 14日、福島駐ルワンダ大使はチャルホゴ灌漑施設建設計画に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP/Kusanone）における74,138米ドルの契約に署名。
- 15日、国連世界食糧計画（WFP）とインパクト・ハブ・キガリ（IHK）は、USAIDの人道支援局（BHA）とデンマーク外務省の支援を受け、食糧システムの課題に取り組むためのルワンダ国内のイノベーター向けに30万米ドル相当の待望の第2回 IGNITE 食糧システムチャレンジを開始。
- 22日、農業動物資源省（MINAGRI）は、欧州連合、ルクセンブルク開発協力庁（LuxDev）、ベルギー開発庁（Enabel）と共に、持続可能な食料システムに向けての変革を支援する「KWIHAZA」プロジェクトを開始。欧州連合とルクセンブルクの資金援助（各1000万ユーロと550万ユーロ）を受け4年間のプログラム（2023-2026）で、水産養殖、漁業、園芸分野のバリューチェーンを開発する。

3. 経済

- 2日、ンギレンテ首相はルワンダ投資フォーラムにおいて、より多くの民間投資誘致のため、「回復のための製造・建設」プログラムの2025年までの延長を発表。
- 18日、ルワンダエアーコンサルティングの新機材エアバスA330-200がキガリ国際空港に到着。(The New Times)

以上